

令和6年(2024年)度年間授業計画表						
学年	3 年	学科	全学科	必選	選択	
教科	家庭科	科目	保育基礎	単位	2 単位	
使用教材	保育基礎 実教出版					
学習目標	① 保育の意義や方法、発達や生活の特徴及び福祉と文化について、体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付ける。 ② 子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担うものとして合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ③ こどもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。					
単元と内容						
1 学期	1. 子どもの保育 2. 子どもの発達	・保育の意義と重要性について人間形成とどのようにかわるかを理解する。				
		・家庭での保育や保育の場の特徴や役割を理解する。				
		・子供を取り巻く環境の変化や保育の課題から今後の保育環境を考える。				
		・子どもの発達の共通性と個別性を理解する。				
2 学期	3. 子どもの文化 4. 子どもの生活	・子どものからだと心の発達の特徴を理解するとともにかわり方を学ぶ。				
		・子どもの健やかな発達のために児童文化財の意義について理解する。				
		・子どもの発達と遊びの重要性を理解し、発達段階に応じた遊具を作ることができる。				
		・子どもと触れ合う機会や保育の様子を観察を通し、適切なかわり方を学ぶ。				
3 学期	5. 子どもの福祉	・子どもが心身の健康を保つために保育の技術を身に付ける。				
		・適切な生活習慣とその援助について考える。				
		・子どもの健康管理や事故防止について実態や原因を理解できる。				
		・子どもの福祉に関心を持ち、児童福祉の理念や法律と制度について理解できる。				
		・子どもを地域や社会で支える子育て支援の場や制度を理解する。				
評 価						
評価の観点		評価の趣旨				
I	知識・技能	保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身に付けている。				
II	思考・判断・表現	子どもの発達や保育にかかわる現状について理解を深めたうえで課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。				
III	主体的に学習に取り組む態度	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身に付けている。				
評価方法	観点Ⅰ		観点Ⅱ		観点Ⅲ	年間時数
	小テスト 定期テスト 学習プリント レポート 製作物		定期テスト 学習プリント レポート グループワーク (事例検討・ロールプレイ)		振り返りシート 学習プリント 各種提出物	予定
						62 時間
						実施
置賜農業育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献				